

Ⅵ 心豊かな社会をつくる

1 教育の充実

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
223		高等教育の負担軽減	324,983	県立大学及び県内私立専修学校で修学する低所得世帯の生徒等に対し、入学料及び授業料の免除にかかる経費を支援	総務部 [総務課]
224		公立大学法人島根県立大学運営費交付金	2,098,007	県立大学の教育研究水準の維持向上や大学経営の健全性を確保するため、大学運営に必要な経費を交付 (No.148 再掲)	総務部 [総務課]
225		私立学校経営健全性確保事業	1,433,068	私立学校等の教育水準の維持向上、学校経営の健全性の確保や、県内就職の促進、外国人生徒への対応などの課題に対応するため、学校運営費の一部を助成 (No.149 再掲)	総務部 [総務課] 健康福祉部 [子ども・子育て支援課]
226		困難を有する子ども・若者支援事業	26,592	ひきこもりや不登校、発達障がいなど、社会生活を営む上で様々な困難を有する子どもや若者の自立につながる市町村の取組を支援 (No.78 再掲) ①就労体験を受け入れる事業所の開拓や関係機関との連携強化などの取組を行う市町村を支援 [助成率] 1/2 ②圏域における支援拠点として、居場所の確保や社会・就労体験など社会とのつながりを回復させる取組を行う市町村を支援 [助成率] 1/2 ③子ども・若者支援機関の相互理解と連携強化の促進	健康福祉部 [青少年家庭課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
227		高等学校等就学支援事業	2,457,179	<p>1 高等学校等就学支援金（授業料支援）</p> <p>①高等学校等就学支援金（国 10/10） 高等学校等に在籍する生徒等（年収約 910 万円未満の世帯）に就学支援金を交付し家庭の教育費負担を軽減</p> <p>②家計急変世帯への支援（国 10/10） 保護者の失職、倒産等により家計が急変し、急変後の年収見込みが約 590 万円未満の収入状況となった場合に授業料を支援</p> <p>2 その他の授業料支援</p> <p>①学び直しへの支援（国 10/10） 高等学校等を中途退学した者が再び学び直す場合に 36 月経過後も継続して授業料を支援（最長 2 年間）</p> <p>②専攻科生への支援（国 1/2） 高等学校等の専攻科に在籍する生徒（年収約 380 万円未満の世帯）に対し授業料を支援</p> <p>3 奨学のための給付金（国 1/3） 生活保護世帯・市町村民税非課税世帯（年収約 270 万円未満の世帯（家計急変世帯を含む））の授業料以外の教育費負担を軽減</p>	<p>総務部 [総務課] 教育委員会 [学校企画課]</p>

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
228		悩みの相談・不登校対策事業	298,234	<p>いじめ、不登校等の課題に対し、未然防止や早期発見・対応の取組を推進 (No.150 一部再掲)</p> <p>①生徒指導体制充実強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の意欲や満足感及び学級集団の状態を客観的に把握するアンケートQ Uをいじめの未然防止、早期発見等に活用 [小中学校] 小学校3年生～中学校3年生対象、市町村へ実施経費の1/2を助成 ・弁護士、臨床心理士等の外部人材をアドバイザーとして学校等に派遣 ・「島根県生徒指導審議会」、「島根県いじめ問題対策連絡協議会」の開催 <p>②悩みの相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置 ・子どもと親の相談員配置 ・いじめ等に関する相談窓口 (来所・電話・SNS) ・スクールソーシャルワーカー活用 ・「こころ・発達」教育相談 ・教育相談員の配置 <p>③不登校対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センターへの支援 不登校児童生徒に対する学校復帰や社会的自立への支援を行う教育支援センターの運営等を支援 (10市町) ・連絡調整員の活用 中学校卒業者や高校中退者でひきこもり等が懸念される者に対する支援 ・居場所・絆のある学校づくり研修 ・不登校児童生徒が増加する中、フリースクール等における多様な学習活動の実状を把握するため、意見交換を行う協議会を設置 【新規】 	<p>教育委員会 [教育指導課] 総務部 [総務課]</p>

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
229		私立学校教育条件維持向上事業	92,741	<p>島根で学ぶ生徒を増やすため、私立学校が行う生徒確保のための取組を支援 (No.150 再掲)</p> <p>①高等学校等授業料減免補助 高等学校等就学支援金制度の対象者に対し、就学支援金の上乗せ支援を行い、家庭の教育費負担を軽減 [助成対象世帯] 年収約 590 万円以上 910 万円未満の世帯 [助成額 (上乗せ支援額)] 2,500 円/月・人 (国制度による支援金 9,900 円/月・人に上乗せ)</p> <p>②魅力と特色ある学校づくり推進事業 学習環境の向上など、魅力化や特色化につながる設備整備を支援</p> <p>③私立専修学校生徒確保支援事業 WEBを活用したオープンキャンパス開催や学校の紹介動画作成等の取組を支援 [助成対象者] 私立専修学校 [助成対象経費] バス借上経費、オープンキャンパス参加旅費助成、学校説明会参加費、広報費等 [助成率] 1/2 [助成上限額] 220 万円/校 ※県内就職者数が前年と比較して増加している学校は、上限額 50 万円/校を加算</p>	総務部 [総務課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
230		幼児教育推進事業	22,408	<p>幼稚園教諭・保育士等への研修や市町村が幼児教育を推進するための体制づくりへの支援により、全県的に幼児教育の質を向上 (No.114 再掲)</p> <ul style="list-style-type: none">・市町村の訪問指導への幼児教育担当指導主事及び幼児教育コーディネーターによる同行支援・県主催研修の実施や市町村が実施する幼児教育施設と小学校の連携に向けた研修の支援・未就学児への体力向上や読み聞かせの取組を推進	健康福祉部 [子ども・子育て支援課] 教育委員会 [教育指導課] [保健体育課] [社会教育課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
231		特色ある学校づくりを支援する少人数学級編制	1,115,039	<p>国において小学校の学級編制の基準を令和3年度から学年進行で見直し、全学年を35人にする方針を踏まえ、以下のとおり対応 (No.116 再掲)</p> <p>①小学1・2年及び中学1年 R2年度の県の見直し方針に基づき、少人数学級編制を実施(学校の実態等を踏まえ、常勤講師又は非常勤講師を配置することも可能)</p> <ul style="list-style-type: none">・小学1年 30人学級編制・小学2年 32人学級編制 (国編制基準 35人)・中学1年 35人学級編制 (国編制基準 40人) <p>②小学6年 国制度変更を踏まえた対応として、35人学級編制を実施 (国編制基準 40人)</p> <p>③中学2・3年 R2年度の県の見直し方針に基づき、38人学級編制を実施 (国編制基準 40人)</p> <p>④課題解決・制度改正対応のための加配 児童生徒支援、教科指導方法工夫改善及び人材育成に関わる、学校の抱える課題の解決に取り組む指導体制を支援するための加配</p> <p>※上記による県独自の少人数学級編制等に伴う加配教員数 114人</p> <p>※国による学級編制の基準見直し R3見直し 小学2年 40人→35人 R4見直し 小学3年 40人→35人 R5見直し 小学4年 40人→35人 R6見直し 小学5年 40人→35人</p>	教育委員会 [学校企画課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
232		学びの場を支える 非常勤講師配置事業	574,355	<p>不登校・いじめ・問題行動等の未然防止や、特別な配慮を要する児童生徒への対応等のため非常勤講師を配置</p> <p>①中1ギャップに対応するための非常勤講師配置事業（中学校クラスサポート事業）</p> <p>環境が大きく変化する中学校1年生を対象に、生活面・学習面からきめ細かい支援を行うため、必要性の高い大規模校に非常勤講師を配置</p> <p>[R6 予定] 29 人</p> <p>②特別な支援のための非常勤講師配置事業（にこにこサポート事業）</p> <ul style="list-style-type: none">・通常の学級にLD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥多動性障がい）など特別な支援を要する児童が在籍し、特に対応が困難な小学校を対象に非常勤講師を配置[R6 予定] 100 人・児童生徒の障がいの多様性や突発的な行動にきめ細かに対応するため、小・中学校の特別支援学級のうち多人数の学級に非常勤講師を配置[R6 予定] 57 人 <p>③自学教室等での個別指導の充実に係る非常勤講師配置事業（学びいきいきサポート事業）</p> <p>自学教室等を設置して個別に指導を行う必要のある中学校に非常勤講師を配置</p> <p>[R6 予定] 30 人</p> <p>※市町村教育委員会の判断で、1人の非常勤講師が複数校兼務を行うことも可能とする。</p>	教育委員会 [学校企画課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
233		働き方改革の推進	787,564	<p>教員が子どもに向き合える時間を確保し、教育の質向上等を図るため、地域の幅広い人材を活用しつつ、教員の働き方改革を実施 (No.160 再掲)</p> <p>1 サポート人材の配置</p> <p>学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制を強化するため、教員が行う事務作業等をサポートする人材を配置</p> <p>①全ての公立小中学校等へのスクール・サポート・スタッフの配置【拡充】</p> <p>公立小中学校等の教員が行う事務作業を代わって行うサポートスタッフを配置する市町村に対し助成</p> <p>[負担割合] 国 1/3・県 2/3</p> <p>②県立学校へのアシスタントの配置</p> <p>県立高校等の教員が行う事務作業を代わって行う会計年度任用職員を配置</p> <p>[負担割合] 県 10/10</p> <p>2 校内業務改善コンサルタント養成事業</p> <p>学校内で働き方改革のための具体的な取組を進める牽引役となる人材(校内業務改善コンサルタント)を育成するため、専門家による講義・ワークショップや個別支援を実施</p> <p>[R 6 予定]</p> <p>対象校 20 校程度</p> <p>・新規分 20 校程度</p> <p>3 デジタル採点システムの導入</p> <p>定期試験・高校入試等の採点に係る教員の業務負担を軽減するため、効率的な採点等が可能となるデジタル採点システムを導入</p> <p>4 寄宿舎における外部舎監配置</p> <p>寄宿舎における舎監業務を教員から外部舎監に置き換え</p> <p>5 スクールロイヤーの配置</p> <p>困難事案等に対する学校からの相談に法的観点から助言を行う「スクールロイヤー(弁護士)」を配置</p> <p>6 教員サポーターの配置</p> <p>教員からの相談体制を強化するため、業務等の相談に応じる「教員サポーター」を教育センターに配置</p>	<p>教育委員会</p> <p>[学校企画課]</p> <p>[教育指導課]</p>

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
234		緊急校務支援員配置事業	31,342	公立小中学校において、県が配置すべき常勤の教員に未配置が発生した場合に、教員の校務負担を軽減するため、緊急校務支援員を任用する市町村に対して、その経費を支援 (No.161 再掲) [負担割合] 県 10/10	教育委員会 [学校企画課]
235		教員確保対策	31,717 [うち補正] 17,100	深刻な教員不足に対応するため、他県の教員や異業種への就職した人材の取り込みや教員職の魅力発信強化等の取組を総合的に実施 ①教員に関心を持つ高校生・大学生に向けた情報発信 ②異業種に就職した教員免許状保有者や他県の教員等の確保に向けた取組を強化 ③若手教員のサポート体制強化	教育委員会 [学校企画課]
236		高校生の住まい確保支援事業	71,709	市町村が行う地域の実情に沿った高校生の住まい確保のための取組を支援 ①みなし寄宿舍に対する運営費支援 市町村が整備した公共的施設を県立高校の寄宿舍として活用する場合には、その運営に要する費用を助成 [助成割合・助成額] 県が算定した標準的運営経費の10/10 (1施設450万円～750万円程度) ②共同下宿に対する運営費支援 市町村が古民家等の地域資源を共同下宿として活用する場合には、その運営に要する費用を助成 【拡充】 [助成割合・助成額] 県が算定した標準的運営経費の1/2を上限	教育委員会 [学校企画課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
237		県立高校主幹教諭等の配置	152,932	<p>県立高校に高大連携を推進するための主幹教諭等を配置 (No.162 再掲、No.166 一部再掲)</p> <p>①主幹教諭の配置 (県単加配) 学校全体での授業改善の取組や、地域との協働に加え、県内大学等との高大連携や入試改革に適応した学力の底上げなどの取組を推進するため、教科・分掌の垣根を越えてリードできる管理的職階にある主幹教諭を全ての普通科高校に配置 [R 6 予定] 21 人</p> <p>②高大連携推進員の配置 ・総合型・学校推薦型選抜による県内大学への入学を希望する生徒の進路実現を図るため、松江、出雲、石見エリアに各 1 名配置 ・島根大学「材料エネルギー学部」の魅力を県内高校生に発信するため、1 名を配置 [R 6 予定] 4 人</p>	教育委員会 [学校企画課] [教育指導課]
238		帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業	181,627	<p>日本語指導が必要な児童生徒等への支援 (No.163 再掲)</p> <p>①帰国・外国人児童生徒に対し支援体制を整備する市町村を支援 ・「特別の教育課程」による日本語指導の実施 ・拠点校の設置等による指導体制の構築</p> <p>②日本語指導が必要な小中学校に教員を配置 [R 6 予定] ・小学校 14 人 ・中学校 8 人</p> <p>③宍道高校における日本語指導体制の強化 (日本語指導員増員) 【拡充】</p> <p>④宍道高校以外の県立学校の支援体制を整備 【新規】</p> <p>⑤教職員研修の充実</p>	教育委員会 [学校企画課] [教育指導課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
239		学力育成推進事業	125,926	<p>児童生徒の基礎的な知識・技能の定着や活用力の伸長を図るため、市町村と連携し、学力の実態把握や授業の質の向上など、学力育成の取組を推進(No.164 再掲)</p> <p>①学力定着状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none">・小学校5年生～中学校2年生の児童生徒を対象に学力調査を実施・小学校低学年段階における学習のつまづき等を把握する調査を実施 <p>【新規】</p> <p>②グローバル人材育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none">・英語によるコミュニケーションの推進 <p>③外国語(英語)教育における授業改善</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語指導助手の活用	教育委員会 [教育指導課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
240		未来の創り手育成事業	1,155,140 [うち補正] 663,807	<p>地域を担う未来の創り手を育成するため、大学等での学びや理系分野への進学など進路選択の幅を広げる機会を充実するとともに、学校図書館やICT機器を活用した教育を推進</p> <p>[事業概要]</p> <p>①しまねの高校生学力育成事業 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」をバランス良く育むための取組を各県立高校が主体的に実施</p> <p>②しまねの小中学生学力育成プロジェクト 小中学校の段階から算数・数学や理科への興味関心を高めるための取組を実施</p> <p>③理数教育の充実に向けた取組 ・しまね数リンピックの開催 ・科学の甲子園（ジュニア）県予選の開催</p> <p>④学校図書館活用教育研究事業 児童生徒の言語能力、情報活用能力を育成するため、小中学校6校をモデル校に指定し研究を実践</p> <p>⑤県立高校図書館活用教育推進事業 12学級未満の高等学校に学校司書（会計年度任用職員）を配置</p> <p>⑥司書教諭養成事業 学校図書館の経営や指導について専門的な知識を持つ司書教諭を養成</p> <p>⑦ICT活用教育推進事業 ・生徒一人一台端末環境に対応するための環境を整備 ・公立学校情報機器整備事業基金を造成し、義務教育段階の市町村立学校や特別支援学校における生徒一人一台端末の更新に要する経費を支援 【新規】 [助成基準額] 5万5千円/台 [負担割合] 県2/3・学校設置者1/3</p> <p>⑧各学校・課程・学科の垣根を超える高等学校改革推進事業 多様な学習ニーズに対応するための遠隔授業実施に係る拠点構築及び環境を整備 【新規】</p>	教育委員会 [教育指導課]

				<p>⑨高等学校DX加速化推進事業 デジタル等成長分野を支える人材 育成のため、校内環境を整備 【新規】</p>	
--	--	--	--	--	--

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
241		教育魅力化人づくり推進事業	330,111	<p>学校と地域が協働して取り組む「教育の魅力化」を支援（No.162、237 一部再掲、No.166 再掲）</p> <p>①学校と地域が一体となって子どもたちを育む協働体制（高校魅力化コンソーシアム）の運営を支援</p> <ul style="list-style-type: none">・協働体制に係る運営マネージャーの配置を支援・協働体制の運営に係る経費を支援 <p>②地域資源を活用した特色ある教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・学校と地域の協働による探究学習の取組を支援・県外生徒募集の取組を支援・大学や企業等と連携した先駆的な取組を支援 <p>③探究学習に携わる人材の育成、確保</p> <ul style="list-style-type: none">・地域と学校をつなぐ魅力化コーディネーター等の養成・育成を目的とした研修会等を実施 <p>④教育魅力化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none">・「教育の魅力化」の成果を図る取組を実施	教育委員会 [教育指導課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
242		子ども読書活動推進事業	200,758	<p>学校図書館の充実と活性化による図書館を活用した教育を推進するとともに、家庭や地域における子ども読書活動を推進（No.117、165 一部再掲）</p> <p>①小中学校等 小中学校の学校図書館を拠点に児童生徒一人一人に寄り添った学びの支援を行うため、「学びのサポーター」または「学校司書」を配置する市町村を支援 [助成率] ・学びのサポーター 市 1/2・町村 2/3 ・学校司書 市町村 1/3</p> <p>②特別支援学校 ・全校に学校司書を配置 ・学校司書の研修、図書の整備を実施</p> <p>③県立図書館 ・学校司書・読書ボランティアの研修 ・子ども向け図書の充実</p> <p>④読み聞かせや親子読書の普及 ・しまね子ども読書フェスティバル等の実施 ・読み聞かせの記録手帳の作成・配布により家族による読み聞かせを推進</p>	教育委員会 [教育指導課] [特別支援教育課] [社会教育課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
243		インクルーシブ教育システム構築事業 (注) インクルーシブ教育システム：障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み	126,375	全ての学びの場で特別支援教育を充実させることで、障がいのある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、地域を支える人材を育成 (No.115、159 再掲) ①発達障がいの可能性のある子どもへの支援事業 特別支援学校の教員などの専門性を活用し、小中学校等への相談・支援を充実 ②高等学校特別支援教育充実事業 ・県立高校において、障がいにより学習や生活に困難さがある生徒が適切な指導を受けられるよう、巡回指導を行う教員を拠点校に配置し、通級指導を充実 ・合理的配慮アドバイザーを県教育委員会に配置 ③切れ目ない支援体制整備事業 関係機関と連携し、個別の教育支援計画の作成・活用による引継ぎ体制を充実 ④特別支援学校機能向上事業 安全で安心な医療的ケア実施に向けた学校看護師の配置等の体制を整備 ⑤特別支援学校と地域の連携強化事業 地域活動やスポーツ文化活動を通じて、教育活動を地域に広げる取組を実施	教育委員会 [総務課] [学校企画課] [特別支援教育課]
244		障がい者就業支援事業	158,622	特別支援学校卒業者等を特別支援学校等の会計年度任用職員として任用し、職業能力や職業意識の向上を図り数年以内の就労を支援 [特別支援学校] 全 12 校 [教育事務所] 出雲 [その他] 教育庁総務課、県立図書館、埋蔵文化財調査センター	教育委員会 [総務課] [特別支援教育課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
245		特別支援学校職業教育・就業支援事業	14,196	<p>特別支援学校高等部において、生徒の希望や適性に応じた進路先の確保や就職後の定着、技能向上に向けた取組を推進(No.90、167再掲)</p> <p>①進路指導の充実 特別支援学校に非常勤講師を配置し、進路指導に必要な時間を確保することで、卒業生のアフターケアや在校生の職場体験受入先の開拓などを実施 [実施校] 6校(松江、出雲、石見、浜田、益田、隠岐)</p> <p>②技能の向上 合同学習や学習成果の発表を通じて、生徒の意欲や職業スキルの向上を促進</p>	教育委員会 [特別支援教育課]
246		特別支援学校における通学支援	40,200	<p>通学を要因とした保護者の負担を軽減するため、スクールバスの増便や、朝の早い時間から児童生徒を預けられる環境を整備</p>	教育委員会 [特別支援教育課]
247		食育推進事業	3,139	<p>食育を通じて次代を担う子どもの望ましい食習慣の形成を推進</p> <p>①食の学習ノート活用事業 副教材「食の学習ノート」(小中学生版、高校生版)の作成</p> <p>②栄養教諭を対象とした研修</p> <p>③高校生を対象とした啓発の取組 朝食欠食など課題の多い高校生を対象に「みそ汁コンテスト」を実施</p>	教育委員会 [保健体育課]
248		社会教育士確保・養成事業	8,969	<p>高等教育機関等と連携・協働し、県内における人づくり・地域づくりを推進していく人材(社会教育士)の育成と社会教育主事資格取得者の計画的養成により、社会教育を振興する人的基盤を確保(No.168再掲)</p>	教育委員会 [社会教育課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
249		ふるさと人づくり 推進事業	8,537	<p>島根の未来を担う次世代の子どもたちが、地域にある資源を活かして主体的に地域でのつながりをつくっていくふるさと活動や、公民館等と地域団体が連携しながら学習・実践活動を行うことにより、地域課題の解決に向かう人材育成に取り組む市町村を支援 (No.169 再掲)</p> <p>①つながりづくり「ふるさと活動」実践事業 [助成率] 新規 1/2、継続 1/3 [助成上限額] 50 万円</p> <p>②「学びのサイクル」による人づくり促進事業 [助成率] 1/2 [助成上限額] 30 万円</p>	教育委員会 [社会教育課]
250		結集！しまねの子 育て協働プロジェ クト事業	66,778	<p>市町村が実施する学校支援、放課後支援、家庭教育支援等の経費を助成 (No.170 再掲)</p> <p>[負担割合] 国 1/3・県 1/3・市町村 1/3</p>	教育委員会 [社会教育課]
251		ふるさと教育推進 事業	25,782	<p>地域の教育資源 (ひと・もの・こと) を活かし、子どもたちのふるさとへの愛着・誇り、貢献意欲の醸成等につながる「ふるさと教育」を、運用を見直した上で市町村等と連携して推進 (No.171 再掲)</p>	教育委員会 [社会教育課]
252		インターハイ実施 競技支援事業	79,326	<p>令和7年度全国高校総体中国ブロック大会の開催準備や環境整備、選手強化の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県実行委員会の設置 ・市町実行委員会の設置 ・競技備品の整備 ・高校生の選手強化 等 	教育委員会 [保健体育課]
253		産業教育設備整備 事業	153,142	<p>技術革新の進む産業構造の変化に対応するため、専門高校への教育設備の整備及び更新を実施</p>	教育委員会 [教育施設課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
254		特別支援学校校舎等整備事業	295,886 [うち補正] 128,060	児童生徒数増加に伴う教室不足、校舎の老朽化・狭隘化の解消等のため、必要な施設整備を実施 ①浜田養護学校の新校舎等整備 [事業期間] R 5～10 [総事業費] 38.0 億円 [R 6 事業内容] 基本設計・実施設計等 ②出雲養護学校雲南分教室の運動場整備 [事業期間] R 5～6 [総事業費] 1.4 億円 [R 6 事業内容] 整備工事	教育委員会 [教育施設課]

(単位：千円)

No.	区分	事業名	予算額	概要	部局名
255		部活動改革支援事業	112,739 [うち補正] 14,750	<p>将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、新たな地域人材の活用等により、部活動における教員の働き方改革等を推進</p> <p>①部活動地域人材活用支援事業 教員に代わって専門的な指導を行う部活動指導員等を県立学校に配置するとともに、部活動指導員等を公立中学校に配置する市町村を支援 [負担割合] ・部活動指導員(原則単独指導・単独引率) 県立学校 県 10/10 中学校 国 1/3・県 1/3・市町村 1/3 ・地域連携指導員(単独指導・単独引率可) 【新規】 県立学校 県 10/10 中学校 県 2/3・市町村 1/3 ・地域指導者(単独指導・引率不可) 県立学校 県 10/10 中学校 県 2/3・市町村 1/3</p> <p>②地域クラブ活動への移行に向けた実証事業 公立中学校部活動の地域移行に向けて、関係者との連絡調整・指導補助等の体制や運営団体・実施主体の整備、指導者の確保への支援等に関する実証事業を実施 [負担割合] 国 10/10</p>	教育委員会 [保健体育課] [社会教育課]
256	新規	青少年の家改修事業	155,707	<p>青少年の家のエントランスホール及び多目的ホール天井の耐震改修及び館内照明等設備の更新等を実施 [事業期間] R 6～7 [総事業費] 3.7 億円</p>	教育委員会 [社会教育課]